

上級英語A		講義	准教授 鈴木 穰
科目カテゴリー	国際ビジネス学コースの 専門選択科目	科目ナンバリング	23200301

### 1. 授業のねらい・概要

必修英語・選択英語を学習後、総仕上げとして英語学習を追求したい学生のための講座。語学検定試験の合格、読解力や会話力の向上など受講生がそれぞれの目標を持ち、今の自分のレベルを上げていく事を望む。特に1年次・2年次アドバンスコースで学習した学生へ引き続きの履修を求める。

### 2. 授業の進め方

大学入学後2~3年経過し、英語に対する意識は高まり、能力は向上したはずである。「語学検定対策講座」では試験合格を強く意識させた。しかし、この講座では実用的な英語を習得し、英語の世界に楽しみを見出してほしい。教科書と視聴覚教材から興味深いテーマを扱い、総合的な能力の向上を目指す。

### 3. 授業計画

1. Introduction, ChatGPT で変わるビジネス	9. タイの若者間で広がる日本茶ブームを追う
2. 沖縄が新たなコーヒーの聖地に	10. ガザの学生たちが広島で平和を願う
3. 髪型・服装の自由化で離職を防止！	11. パリに眠る武士の甲冑を修復
4. ストリートアートが活性化するビジネス	12. 英国の名門校が日本進出
5. 「からだの錯覚」を科学する	13. 日本式コンポストでモンゴルの大地を甦らせる
6. インド人との共生を実現したインクルーシブ団地	14. AI界の“ゴットファーザー”
7. マーシャル諸島被爆と温暖化	15. 日本に生まれたのに国外追放!!入管法改正
8. 書店を巡礼!!リアル書店のサバイバル術いろいろ	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

前回の授業内容の復習や予習に関して少なくとも1時間費やし、内容の理解や語彙力の向上に努めること。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

小テストの解答は、授業中に解説する。最終試験実施の後、解答を提示版に掲示する。

### 6. 授業における学修の到達目標

受講生それぞれが目標を設定し、頻繁に達成度を確認することを意識する。

### 7. 成績評価の方法・基準

授業の参加度(30%)、小テスト(30%)、最終試験(40%)の結果によって判断する。

### 8. テキスト・参考文献

JAPAN QUEST From NHK WORLD-JAPANS NEWSLINE (KINSEIDO)

### 9. 受講上の留意事項

現在の自分のレベルを上げるために努力すること。辞書を持参すること。  
アドバンスコースを履修していなかった学生は、事前に担当講師へ申し出ること。

### 10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

### 11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。